

## 事業名 松本都市計画事業中央西 土地区画整理事業

「水と緑・ゆとりとうるおいのある街づくり」をテーマに、人にやさしいまちづくりを目指すとともに中心市街地の活性化を図り、来訪者等から好評を得た事業

受賞機関 松本市建設部中央西整備本部

事業実施期間 昭和60年度～平成14年度

事業費 29,336百万円

### 事業等の特徴

中心市街地を含む既成市街地を面的整備によって再生した事業である。既成市街地は関係者が多く土地の権利関係が複雑であるなど、面的な整備がきわめて困難であり、これを円滑に最後までやり抜くためには、住民と行政の緊密な協力関係が不可欠である。現実には、なかなかこのような関係を築けた例は少なく、貴重な例である。

成功のポイントとして、地区内関係者で構成する協議会が、街づくり協定制定など積極的に活動したこと、地元商店街と連携したこと等があげられる。

### 事業の概要と利用者等の評価

#### ○事業の概要

- ・「水と緑・ゆとりとうるおいのある街づくり」をテーマ
- ・「ゆとりとうるおいの空間」の演出
- ・「高質整備と環境配慮」型の街づくり

具体的には、民地におけるセットバックや建物外観の規制、看板類設置基準の統一などを始めとする「街づくり協定」を制定し、秩序ある街並みを創出することが可能となり、3mのセットバックした地区では広々とした快適で安全な歩道空間が確保されるなど来訪者から好評を得ている。

#### ○公共施設利用者等の配慮

- ・土地区画整理事業との合併施行により建築された再開発ビル（Mウイング）については、商店街としての連続性を確保するため1階部分に店舗スペース、上層階にはコミュニティ施設を設けるとともに、駐車場並びに体育館施設合体型の別棟を空中歩廊により連結させるなど利用者の便宜を図っている。
- ・通年イベントの開催とインターネットによる情報提供

#### ○利用者等の評価

このように、住民を主体としたことが反映して、



25m幅員道路俯瞰（東を望む）



花時計公園

マスコミで取り上げられたり、地元や来訪者が参加し、好評を得ることになったものと思われる。

#### 審査委員会委員の意見等

- ・土地区画整理事業において、協議会組織の立ち上げ・活用により建物外観の規制、広告物規制等を内容とする「街づくり協定」を制定して景観・環境の確保を確実にした点、住民意識の高まりをその後のイベント展開に結びつけた点が評価されるが、ミニ東京の出現との印象が払拭しきれない面もある。
- ・官民一体となった街づくりが図られ、快適で安全な歩道空間が完成して、多くの来訪者に好評を得ていることは評価できる。
- ・困難な事業の完成に敬意を表したい。マスコミとの連携、インターネットの活用、イベントの活用などソフトの充実が評価できる。事業の効果は徐々に現出するので、評価手法の改善をも視野に入れて、今後とも来街者、事業者、住民等へのモニタリングを継続すべきと考える。
- ・部分的な整備を“街”のメッセージとして、ハードプラスソフトのプログラムと市民意識への広がり期待し、また、設計等に関しては、利用者とのより深い詰めを望みたい。